



相模
県
寒川
町

さむかわ

議会だより

第206号

令和5年5月1日
発行



寒川町にゆかりのある画家 田口 雅巳 氏
作品「花咲く駅(宮山)」

1月第2回会議
3月会議

CONTENTS

- | | |
|-------------|-----|
| ● 新しい議会構成 | P 2 |
| ● 予算特別委員会特集 | P 3 |
| ● 議案審査 | P 8 |
| ● 一般質問 | P12 |
| ● 議会TOPICS | P16 |

寒川町議会 新しい議会構成が決まりました



**議長
天利 薫**



このたび、議員各位のご推挙を賜り、議長および副議長の要職に就任することとなりました。

この未曾有の新型コロナウイルス感染拡大が始まって、もうすでに3年が過ぎております。ようやく明るい兆しが見えてきましたが、子育て支援、経済、そしてデジタル化など多様な課題が山積してありま

**副議長
吉田 悟朗**



す。この寒川町においても、スピード感がある議会運営が求められており、我々議員はこの課題解決に取り組んでまいります。

今後とも、町民の皆さまにおかれましては町議会に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

委員会の構成が決まりました

(◎：委員長 ○：副委員長)

総務常任委員会	文教福祉常任委員会	建設経済常任委員会	東海道新幹線新駅 対策特別委員会	寒川北インターチェンジ 周辺対策特別委員会	議会運営委員会
◎黒沢 善行	◎佐藤 一夫	◎横手 旭	◎岸本 優	◎関口 光男	◎杉崎 隆之
○茂内 久代	○橋本 修一	○山上 秀樹	○山田 政博	○柳下 雅子	○柳田 遊
山田 政博	柳下 雅子	青木 博	山上 秀樹	青木 博	山上 秀樹
柳田 遊	岸本 優	小泉 秀輔	佐藤 一夫	茂内 久代	山田 政博
杉崎 隆之	吉田 悟朗	太田真奈美	小泉 秀輔	柳田 遊	吉田 悟朗
天利 薫	関口 光男	柳下 雅子	橋本 修一	杉崎 隆之	黒沢 善行
山上 秀樹	山田 政博	橋本 修一	横手 旭	吉田 悟朗	
青木 博	茂内 久代	杉崎 隆之	黒沢 善行	太田真奈美	
小泉 秀輔	柳田 遊	関口 光男			
岸本 優					

会派構成が変更になりました

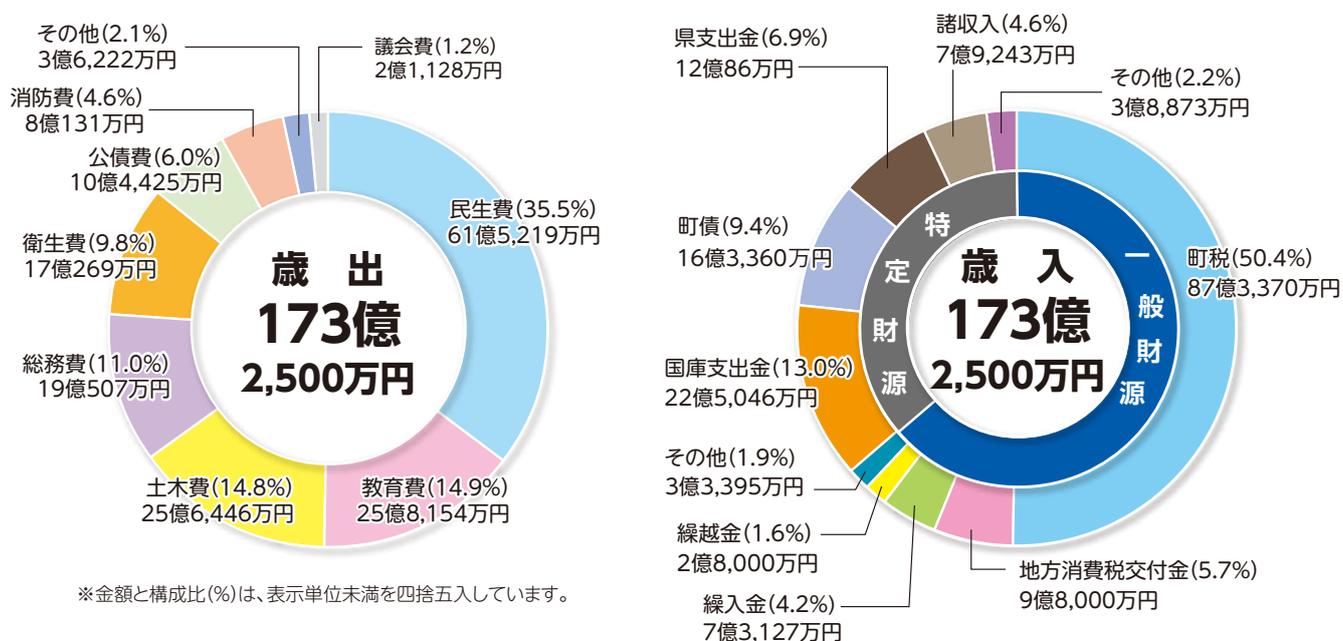
(○：会派代表者)

さむかわ自民党	大志会	フォーラム寒川	日本共産党	公明党	会派に属さない議員
○吉田 悟朗	○山上 秀樹	○柳田 遊	○山田 政博	○黒沢 善行	小泉 秀輔
横手 旭	茂内 久代	柳下 雅子	青木 博	太田真奈美	橋本 修一
杉崎 隆之	佐藤 一夫			関口 光男	
岸本 優					
天利 薫					

令和5年度予算を徹底審査しました



一般会計予算概要



各会計予算額

区分	令和5年度予算額	令和4年度予算額	前年度伸率
一般会計	173億2,500万円	149億8,600万円	15.6%
特別会計	120億6,212万円	125億4,384万円	△3.8%
国民健康保険事業	48億2,257万円	48億4,460万円	△0.5%
後期高齢者医療事業	12億1,450万円	11億4,672万円	5.9%
介護保険事業	37億7,344万円	37億2,448万円	1.3%
下水道事業 (公営企業会計)	22億5,160万円	28億2,804万円	△20.4%
合計	293億8,712万円	275億2,984万円	6.7%

令和5年第1回定例会3月会議では、6名の委員で構成する予算特別委員会を設置し、令和5年度一般会計予算および4特別会計予算を、慎重に審査しました。

《審査意見書より抜粋》

国内景気は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって持ち直してゆくことが期待されている中、令和5年度一般会計予算および4特別会計予算の総額は、対前年度比で増となった。

国・県補助金の獲得を積極的に図るなど、財政の健全化に向けた取り組みは評価するものの、発行債と償還元金を比較するとプライマリーバランスは赤字となった。

歳出では、自治体DX推進業務委託、町の花「すいせん」制定50周年記念事業の計上、障がい福祉サービス利用者の増加や国の出産・子育て応援事業の実施に伴う予算の増額など、町民生活に直結する施策に予算が計上されていることは、大いに期待するものである。

その他、多くの投資的経費となる事業予算が計上されていることにおいても、町総合計画に基づく将来への投資を着実に進めているものと捉え、大いに評価できるものである。



予算特別委員会
岸本 優 委員長
(さむかわ自民党)



審査意見書全文



本会議の映像

予算執行にあたっては、審査の過程で指摘された委員の意見等を十分に配慮し、「寒川町総合計画2040 第一次実施計画」で取り組むべき事業を着実に推進していただきたい。そして、施政方針で町長が述べた、「町民の皆さまの生命や財産を守る体制の強化や次代を担う子どもたちが夢や希望を持ち笑顔で暮らし、「住み続けたい、住んでみたい」と思われるまちづくり」に向け、全職員が一丸となって取り組むよう要望し、審査意見とします。

東海道新幹線新駅整備基金積立金の 予算の算出根拠は適正か

Q 土地利用計画や資金計画ができて費用が明確になると考える。積立金の予算の算出根拠は。

A 新駅設置費用や負担割合が確定していない中、他の請願駅事例から町も一定額の負担が必要であると考え、5,000万円の積み立てを予定しています。今後、新駅設置に密接に関わるまちづくりの事業費などが明確になってきたときに、改めて積立額等を決めていきたいと考えています。



柳田 遊 副委員長
(フォーラム寒川)

Q 下水道使用料が今後段階的に引き上げられる予定になっている。都心と比べて人口密度が低い町では、厳しい受益者負担となるため、経費回収率100%を目指すのは難しいと思うが、町の見解は。

A 下水道事業を持続可能とするためには、計画に基づいた適正な維持管理や耐震化を実施する必要があり、下水道使用者に負担をお願いする受益者負担の考え方にに基づき、回収率100%を目指す予定です。

下水道使用料改定に関して 町の政策の方向性を問う

学校給食センター
維持管理経費の算出は妥当か

Q 給食センター維持管理経費の予算額が物価高騰を加味しても増えている。現在の自校方式とセンター方式のコスト比較はどうか。

A 参考値としては給食センター方式のコストの方が高くなっています。しかし、自校方式では光熱水費等維持管理経費の一部が省かれていること、人員体制が異なること、センター方式としては、初年度の予算計上となること等から、単純に比較することは適当ではないと考えます。



給食センター完成イメージ図



山田 政博 委員
(日本共産党)

Q 財政調整基金の適正額は予算の1割から2割程度が適当ということだが、予算からすると多いのではないか。町民福祉の向上のために、より多くの財政調整基金を活用すべきと考えるが、町の見解は。

A 財政調整基金は、年度間の財政、財源の不均衡を調整する機能のほか、災害対応などの不測の事態に備えておく必要があります。事業の優先順位を見ながら、真に町民の福祉の向上につながる施策を展開します。

町民の福祉の向上のために
財政調整基金の活用を

部活動の地域移行に向けた
町の体制を問う

Q 国では、公立中学校の部活動の地域移行に向けた動きが本格化している。町の対応は。

A 部活動の地域移行にあたっては、地域での受け皿や活動場所、大会の在り方、保護者負担、財源の確保など多くの課題があります。そのため、国の支援策などにも注視しながら、町の実情に合った方向性や環境整備について、関係各課、関係団体との連携を密に図りながら、共に研究を進めます。



茂内 久代 委員
(大志会)

Q 親は、障がいのある子の将来に対する不安があると思う。不安を解消するための町の取り組みは。

A 親なき後を支援する方々を対象とした講座を、地域福祉の担い手である町社会福祉協議会が開催しています。地域との連携強化にもつながり、障がいへの理解も図られることから、引き続き町も親なき後をテーマとした講座や講演の開催について積極的に協力していきたいと考えます。

「親なき後」について
町の考えを問う

ごみ・資源物の
収集処理の課題を問う

Q ごみ・資源物の収集処理の試験運用を実施した中で、ごみ出し時間や置場の管理に伴う精神的負担など、町民からさまざまな意見を受け、町が課題として捉えていることは。

A 1番の課題は資源物置場であると認識しています。生活スタイルが多様化したことで、自治会や衛生指導員による管理・指導の継続が難しいなどのご意見がアンケートにありましたので、今後は解消に向けて見直しを進めていきたいと考えます。



吉田 悟朗 委員
(さむかわ自民党)

Q DXの推進について、サービスや製品などを広域連携により調達することで、スケールメリットを生かし費用削減など期待できると考えるが、町の見解は。

A 広域連携による共同調達については、町単独の場合と比較して、スケールメリットが働くことから、有効な手段であると認識しています。今後もさまざまな枠組みを有効活用し、効果的かつ効率的な自治体DXの推進に取り組みます。

広域連携により町のDX推進を

寒川駅北口の歩行者専用道路を
活用したにぎわい創出を

Q にぎわい創出のために、寒川駅北口の歩行者専用道路を活用すべきと考えるが、町の見解は。

A 寒川駅前を含めたまちのにぎわい創出については、町観光協会をはじめ、さまざまな団体が事業を展開しています。歩行者専用道路を利用するにあたっては、道路の幅員など一定の要件、沿道住民や関係機関との協議なども必要です。寒川駅前ににぎわい創出について、町としてもさまざまな団体と連携し取り組みます。



寒川駅前公園西側の歩行者専用道路



関口 光男 委員
(公明党)

Q 高齢者支援策として認知症地域支援推進員の増員と包括支援センターの北部地域への設置が必要と考えるが、町の見解は。

A 高齢化が進む中、認知症の方の数は増えていき、認知症地域支援推進員の役割、重要度はますます高まると考えています。地域包括支援センターの北部地域への設置については、出張相談の状況等を踏まえ、その在り方を検討していきたいと考えます。

十分な高齢者支援ができる
体制づくりを

令和5年度予算を 討 論

二次元コードから本会議の映像を
ご覧いただけます。



賛 成

さむかわ自民党

町の未来を切り開く 予算を評価

子育て関連事業費や障害福祉事業費の増とともに、新たな事業として自治体 DX に関する事業やがん患者のための医療用ウィッグ購入費助成、胃がんリスク検診の実施など町民ニーズを踏まえた数多くの事業が実施されることとなります。これらの取り組みは町民の暮らしを守り、将来を担う次世代に対し責任を持った町の未来を切り開く予算だと評価します。

一方、デジタル技術が日々進歩している中で、システム等の導入に際して、多額の費用がかかる DX の推進、ごみ・資源物収集の衛生指導員の負担や成り手不足、教育行政では課題解決への対応体制が整っているかなど、しっかりとした検証がなされることを望みます。

未曾有の感染症を乗り越え、生まれくる新しい時代の価値観に、町民に寄り添った行政運営を通じて、この町の明るい未来を切り開いていただけるものと期待して、一般会計予算および他の 4 特別会計予算に賛成します。

反 対

日本共産党

町民の福祉の向上と暮らし の負担軽減のための予算を

コロナ禍の下、町民の福祉の向上、暮らしの負担軽減になっているかという観点で審査に臨みました。

税収増を見込んで過去最高の予算計上となっていて、目的別構成では民生費や衛生費、性質別構成でも扶助費の金額は増えていますが、構成比では減っています。

財政調整基金の適正額は 1 割から 2 割程度が適当とのことで、予算からすると多いと感じます。

平和推進事業は、平和の大切さを、世代間を超えて伝えていく事が重要だという認識は同じでしたが、積極的な事業展開が見られないため改善を求めます。

物価高騰の中、町民の生活は苦しくなっているため、財政調整基金や新幹線新駅整備基金積立金などの積み立てではなく積極的に活用し、町民の福祉向上に使うべきと考え、一般会計予算について反対とします。

なお、他の 4 特別会計についても保険料の減額などさらなる負担軽減と国や県の公費負担増額を求めべきとして反対します。

賛 成

フォーラム寒川

算出根拠に基づいた 予算計上を評価

少子高齢化の影響や公共施設の更新・維持管理などの財政硬直化をもたらす課題がある中で、予算の算出根拠や効果が数字に反映されているかどうかを観点に審査しました。

結果、マーケティング推進事業費では、認知度を向上させ選ばれるまちとして政策立案に向けたニーズ把握をするための知識や技術習得を狙いとした予算、デジタル推進事業費では、窓口サービスのデジタル化やキャッシュレス決済の導入などによって利便性向上、職員の業務負担の軽減など定性的・定量的な効果を根拠とした予算、子育て支援事業費では、保育の受け皿確保や利用者支援に伴う課題解決に向けた予算でした。

さまざまな事業がある中で、しっかりと算出根拠に基づいて予算が計上されていることを評価します。

財政健全化に向け、町の行財政運営が住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるように予算が執行されることを期待し、一般会計予算および他の 4 特別会計予算に賛成します。

▼予算特別委員会 委員別賛否結果

○：賛成 ●：反対

委員名	会計区分				
	一般会計	特別会計			
		国保	後期高齢	介護保険	下水道
委員長 岸本 優 (さむかわ自民党)	—	—	—	—	—
副委員長 柳田 遊 (フォーラム寒川)	○	○	○	○	○
委員 山田 政博 (日本共産党)	●	●	●	●	●
委員 茂内 久代 (大志会)	○	○	○	○	○
委員 吉田 悟朗 (さむかわ自民党)	○	○	○	○	○
委員 関口 光男 (公明党)	○	○	○	○	○

岸本委員長は表決には加わりません。

● 1月第2回・3月会議 ●

寒川町のこんなことが
決まりました。

1月第2回会議 会議期間 1月25日
3月会議 会議期間 2月21日から3月27日

1月第2回・3月会議の議案は

町長提出議案・・・18件
委員会提出議案・・・1件

今号では
この中から
5つを
Pick up

※議案の会議録については、6月上旬にホームページに公開します。

〈議案第1号〉

Pickup 1

出産・子育て応援交付金に関する
予算を追加します

妊婦・産婦のほか、夫やパートナー、同居家族に対して保健師等による面談を行う伴走型相談支援と、総額で10万円相当を支給する経済的支援を実施し、全ての妊婦・子育て家庭が、より安心して出産、子育てができるよう取り組むための予算を追加するものです。

こんな質問がありました

Q 年度途中で転入・転出された方、DVなどやむを得ない理由で住民票登録地と住んでいるところが違うといったケースの対応は。

A 事業開始日より前に転出された方は経済的支援の対象外になります。

DVなどやむを得ない理由で住民票が町に無いケースについては、現住所地を確認の上、面談を実施した場合には、子育て応援ギフトの支給を行うことは差し支えないとの国の考えに基づき、適切に対応したいと考えます。



〈議案第2号〉

Pickup 2

指定管理者へ物価高騰に対する
支援金を交付します

原油価格・物価高騰の影響を受けている指定管理者の適正な管理運営を支援することを目的に「寒川町指定管理者制度導入施設運営持続化支援金交付要綱」を令和5年1月に制定しました。当該交付要綱で定めた支援金を交付するための予算を追加するものです。

こんな質問がありました

Q 指定管理者の募集要項でのリスク分担保では人件費、物件費等物価変動に伴う経費の増の負担者は指定管理者となっているが。

A 今回については、通常の物価変動とは違い、想定を超えるものと判断し支援するものです。

Q 光熱費等の高騰は続くことも想定されるが、今後も同程度の支援を考えているのか。

A 基本協定等において、定めのない事項は町と指定管理者との協議事項となっていることから、今後も協議していきたく考えます。



健康管理センター

〈議案第11号〉

Pickup 3

犬の登録手続きがウェブ上で
できるようになりました

動物愛護管理法の一部改正が施行され、ペットシヨップ等で譲渡される犬および猫についてはマイクロチップの装着が義務化され、それに伴い狂犬病予防法に特例制度が設けられました。特例制度への参加に伴い手数料条例を改正するものです。

こんな質問がありました

Q 特例制度に参加するメリットは。

A 登録*[※]手続きがウェブ上で可能となるため、飼い主が役場窓口で行っていた手続きが不要になることや、町への登録手数料の3千円が不要となります。

また、職員の登録に関する事務手続きの効率化につながります。

Q 今まで窓口で発行していた鑑札はどうなるのか。また、予防接種をしているかどうかの見極め方は。

A マイクロチップが鑑札の代わりとなります。また、狂犬病予防の注射済票の装着義務には変更ありませんのでご確認いただけます。

※ウェブ上での登録は手数料300円が必要になります。



Pickup **4**

**乳幼児の安全確保を図る規定を
町の条例に追加します**

国において、保育所等での重大事故が繰り返し発生したことや、送迎バスでの園児置き去り事案を受けて、乳幼児の安全確保を図る具体的な対策を記述する改正が省令に加えられたことにより、町の条例にも関連規定を加えるものです。

こんな質問がありました

Q 町として安全管理をどのように確認していくのか。

A 国からの通知を各施設に周知し、各施設が策定している安全計画の提出を求め、監査や実地指導などの確認をしていきます。

Q 安全管理は当然やるべきことだが、事業者も計画策定など相当な負担がかかると考えるが、町のサポートは。

A ご相談いただいた場合には、県に確認をとるなど、サポートをしていきたいと考えます。



Pickup **5**

**固定資産評価審査委員会委員が
決まりました**

固定資産評価審査委員会委員について、次のとおり同意しました。

委員が決まりました

● 固定資産評価審査委員会委員

木 き
内 うち
和 かず
美 み
氏

任期（令和5年3月27日から令和5年9月27日まで）

令和5年第1回定例会 1月第2回会議 審議結果

議案番号	議案	会派名	さむかわ自民党					大志会			日本共産党		公明党		立憲さむかわ		橋本修一	柳田遊	柳下雅子	
		議決結果	天利 薫	横手 旭	杉崎 隆之	岸本 優	吉田 悟朗	佐藤 正憲	山上 秀樹	佐藤 一夫	青木 博	山田 政博	大田 真奈美	黒沢 善行	関口 光男	小泉 秀輔				茂内 久代
1月第2回	1	令和4年度寒川町一般会計補正予算(第10号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 (佐藤一夫議長は、表決には加わりません。橋本議員、柳田議員、柳下議員は会派に属さない議員です。)

令和5年第1回定例会 3月会議 審議結果

議案番号	議案	会派名	さむかわ自民党					大志会			フォーラム寒川		日本共産党		公明党		小泉秀輔	橋本修一		
		議決結果	横手 旭	杉崎 隆之	岸本 優	吉田 悟朗	天利 薫	佐藤 正憲	山上 秀樹	佐藤 一夫	茂内 久代	柳田 遊	柳下 雅子	青木 博	山田 政博	大田 真奈美			黒沢 善行	関口 光男
3月	2	令和4年度寒川町一般会計補正予算(第11号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	令和4年度寒川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4	令和4年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5	令和5年度寒川町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
	6	令和5年度寒川町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
	7	令和5年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
	8	令和5年度寒川町介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
	9	令和5年度寒川町下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
	10	寒川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	寒川町手数料条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	寒川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	13	寒川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	14	寒川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	15	寒川町子ども・子育て会議条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16	寒川町国民健康保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	17	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	賛成:16票 反対:0票																
	18	財産の取得	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	委員会提出第1号	寒川町議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	-	辞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：賛成 ●：反対 辞：辞職 (天利議長は、表決には加わりません。小泉議員、橋本議員は会派に属さない議員です。)

本会議・委員会の記録

本会議・委員会の記録を次の二次元コードからご覧いただけます。

本会議の記録



各委員会の記録



議案・陳情等の資料



可決された意見書・決議





柳田 遊 議員

次世代にツケを残さない 町の行財政運営を問う



Q 町は長い間、普通交付税不交付団体で在り続けてきた(平成24・25年度を除く)背景があるが、平成元年度に63%であった経常収支比率が98%に至るなど、近年財政硬直化に直面していることは統計上の数字から裏付けされる。

高齢化による扶助費と繰出金のさらなる増加、人口減少や経済環境の変化による税収の減少など財政硬直化の要因がある中で、次世代にツケを残さないために、町はどのようにに財政健全化に向けた行財政運営を進めていくのか。

A 本町は健全財政を維持していますが、近年は長引く不況などの影



出典：町公共施設再編計画より

響により税収等が低迷する中で、少子高齢化の進行に伴い、義務的経費となる扶助費等の伸びが著しく、平成23年以降は経常収支比率も90%を超えた状態が続いています。

こうした状況は、多様化する価値観の下で町民ニーズに即した魅力ある施策展開による結果ですが、この町の居住価値を高め、「住み続けたい」と思われるまちに向けての必要不可欠な財政投資と考えます。

一方、財政硬直化といった視点で柔軟な行政運営に対する影響も懸念されますので、効率的な行財政運営を進めていく必要があります。

今後についても、各種財政指標等を踏まえつつ、税等の自主財源の確保、国・県補助金の活用やふるさと納税の獲得など歳入確保に努めるとともに、町総合計画の実効性を担保すること、地域経済の好循環を生み出す持続可能なまちづくりを実現し、選ばれるまちを目指します。



小泉 秀輔 議員

町民の命を守るために さらなる災害対策の強化を



Q 内水氾濫リスクに対し、河川管理業者である県への要望は。

A 河床のしゅんせつや低水時期の樹木の伐採、草刈り等の実施と併せ、都市化による雨水流出力の増加に伴う水位上昇に対する溢水^{あふれ}対策の強化を要望するとともに、小出川については、早期の改修工事および遊水地整備の早期実施を要望しています。

Q 災害時応援受援計画の策定状況は。

A 地域防災計画に受援計画の策定を掲げており、災害時職員行動マニュアルに受援体制を追加するなどの対

応をしています。今後、広域応援協定やボランティア、関係団体など多方面な受け入れを検討し、具体的な計画から受援体制の明確化を図りたいと考えます。

Q 地理的条件が異なる自治体との相互応援協定のネットワーク化は。

A 災害時に多種多様な支援を受けられることは大変心強いことから、地理的条件の異なる他自治体と協定を締結し、ネットワーク化に努めていきます。

Q 難病患者の避難先における町の取り組みは。

A 保健師等の巡回による体調把握を行い、病状によっては、協定先の福祉避難所や最寄りの救護所、医療機関へ搬送します。

Q 猫のマイクロチップ埋め込みについて、町の考えは。

A マイクロチップの有用性を、町のホームページや動物関係のイベントにて周知啓発をしていきます。

※溢水：水があふれ出ること。



青木 博 議員

満遍なく支援できる
学校給食費の無償化実現を



Q 文部科学省から「学校給食費の無償化の実施状況」が公表された。調査結果は把握されているのか。

A 平成29年度の調査結果については、全国で4・7%の自治体が無償化を実施していると把握しています。

Q 公表から5年たち無償化が広がっている。町も限定的であるが、無償化を実施した理由は。

A 国の交付金を活用し、新型コロナウイルス対策の方針の第2弾緊急経済対策の緊急支援フェーズとして実施しました。

Q 住民福祉向上に責任を持つ自治体として無償化の意義を問う。



A 一定の意義はあると思います。が、無償化については、多くの財源を必要とするため、慎重な議論も必要だと考えます。

小児医療費無償、拡充を問う

Q 「18歳までの拡充となると、収入がある方や高校は義務教育ではないので軽減をどこまで図るかなど、さまざまな問題がある」と以前回答していた。問題解決の経緯を問う。

A 長引く物価高騰は、経済的負担として子育て家庭の家計に大きな影響を与えていると考えます。

また、小児医療費助成制度は、小児を養育している方がその小児の分として支払う医療費に対して助成を受けられるものです。一定の収入があっても養育義務者の扶養から外れるといった状況がなければ、助成対象として差し支えないものと考え、助成対象を高校3年生相当まで引き上げるといった判断をしました。



山上 秀樹 議員

さむかわ中央公園の
管理と運営について問う



Q さむかわ中央公園の特徴は。

A 町中央部に位置し、コミュニティバスなどの公共交通によるアクセスが可能です。公園中央部分のスペースが広く確保され、開放的であり、イベント等にも利用しやすく、パンプトラックも設置されています。広域避難所、ドクターヘリの離着陸場にも指定されており、防災、救急といった面での機能的な特徴も有しています。

Q さむかわ中央公園の管理体制と運営状況は。

A 安全で安心してご利用いただくため、施設修繕や樹木の剪定等維持管理が欠かせない状況もあります。

遊具、トイレの修繕業務や芝刈り、剪定等の委託をはじめ、公園愛護会の方々による清掃や手入れ、町職員による直営作業等により対応しています。

Q 公園内への自転車の乗り入れについては制限があるか。

A 寒川町都市公園条例において、町内の公園全てが乗り入れ禁止となっています。

Q 公園内で自転車等と接触などをしつげがをした場合、どのような管理責任が発生するか。

A 施設管理者の管理責任については、管理瑕疵の有る無しによるものと考えます。

Q 町民からも提案のあった、さむかわ中央公園駐車場の有料化の検討状況は。

A かねてより検討を進めています。が、社会状況と合わせ駐車場の現状を把握し、適切かつ妥当な方向性を見いだしていきます。





茂内 久代 議員

ヤングケアラーに対して 町の支援体制の確立を



Q 一年前の一般質問にて、ヤングケアラーの実態調査、周知、支援を訴えたが、町のその後の取り組みは。

A 町ホームページにヤングケアラーのページを設け、相談できる団体等について情報発信する形を整えました。また、普及啓発ポスターを町内掲示板に掲示し、広く町民の目に触れるようにしました。町青少年問題協議会では、県・町社会福祉協議会より講師を招き研修会を行いました。今後は実態調査を行いながら、町の実情に即した取り組みを検討していく必要があると考えます。

Q 子どもとの接点が多い学校での取り組みは。

A 日々の健康観察や遅刻、欠席、学習状況等の把握を通して子どもたちの様子を観察し、学校全体で組織的に気になる子などの情報を共有しています。また、心理や福祉の専門人材の活用も重要と考え、県から派遣されているスクールカウンセラーや



スクールソーシャルワーカー、教育委員会の巡回相談員、訪問相談指導員、心理相談員等で連携を図っています。子どもたちが抱える不安や悩み等により早い段階で気付き、適切に対応ができるよう、今後もしっかりと取り組んでいきます。

Q 子ども食堂など子どもの居場所が増えている中、地域の方々との連携も大切と考えるが。

A 町としても、地域の方々と協力し、ヤングケアラーと思われる子どもへの気持ちに配慮しながら意識啓発できればと考えます。



横手 旭 議員

自治体DXの推進について問う



Q 自治体DXの推進にあたって、「町民のデジタルデバйд解消のための相談窓口の設置」「未来を見据え、WEB^{※1}やチャットAI^{※2}の活用に対する研究を行うプロジェクトチーム設置」以上2点を実施しては。

A 相談窓口の設置は、「誰一人取り残されない人に優しいデジタル化」の実現のために必要な取り組みである一方、専門的知識を有する人材確保等の課題が生じるため、国の動向や近隣市との連携なども視野に入れ、まずは町LINE公式アカウントを活用して対応していきます。

また、プロジェクトチーム設置については、組織横断的に検討する場を

創出しながら、DXの推進に取り組んでいきたいと考えています。

スペシャリストの活用と育成

Q プロフェッショナル人材の活用と育成について、「副業人材制度の導入検討」「人材採用系企業との連携」「職員へのリスキリング制度の積極導入」以上3点を実施しては。

A 民間企業では、多様な働き方を認めることで人材の確保を図るとともに、スキルや自主性の向上を見込み、副業を認める流れにあります。町でも、柔軟な雇用形態や活用指

標などを研究しながら副業人材、企業との包括連携協定など最善の方法を検討します。

また、職員へのリスキリング制度については、特にDX推進への対策として注目されていると認識しています。デジタル分野にとどまらず、あらゆる分野で価値創出のため取り組めるよう努めます。

自治体DXを推進する上での課題 その①

【課題その①】

デジタルデバйд

情報通信技術を利用して恩恵を受ける者と、利用できず恩恵を受けられない者との間に生ずる、知識・機会・貧富などの格差

一般質問で使用した議員作成資料より

※1 WEB3.0分散型インターネットと称される次世代のインターネットのこと。
※2 チャットAIやユーザーが入力した質問に対して、対話形式でAIが答えるチャットサービスのこと。



柳下 雅子 議員

「こども基本法」の理念を生かした子ども施策の推進を



Q 1924年に児童の権利に関するジュネーブ宣言が出され、1989

年児童の権利に関する条約が国連総会で採択。2023年4月「こども基本法」が施行。6つの基本理念に基づき施策を実施する責務が生じるが、その意義と活用をどのように捉えているのか。今後の取り組みの留意点と具現化に向けての体制づくりへの考察は。

A この法律は、子ども施策を推進する際の共通の基盤になるものとして、理念や基本的事項を定め、社会全体で総合的に子ども施策を実施していくために制定されたものであると認識しています。

Q こども基本法が町総合計画の人的に生かされる新化する町につながらる効果的な行政運営の在り方とは。

A これからは子どもの視点での捉え方が、大きな役割を持つてくると考えます。総合計画は、全ての年代の方を対象としますが、中でも未来ある子どもたちのことも大変重要視しています。そのための環境整備として、子どもの意見も踏まえた中で具現化あるいは具現化を図っていきたく思います。



令和4年度 寒川町子ども議会

町においては、こども家庭庁設置法や、令和6年4月の改正児童福祉法施行も視野に入れながら、子育て支援策を進めるために、子どもを施策の中心に据えた体制を整える必要があると考えます。

今後の取り組みの留意点として、意見を表明する機会、施策への反映や参加というのは、子どもの視点に立った施策を展開していくために極めて重要なことであると思います。

Q 災害時の避難所における二番の問題は食事でも飲料水でもなく、トイレであることが全てのアンケート調査からも明らかである。町ではマンホールトイレの設置が進んでいないが、広域避難場所への設置について町の考えを問う。

A 避難者の健康管理や衛生対策の観点から、トイレは重要な課題です。現在は簡易トイレを備蓄しています。が、長期間の使用を考慮すると、下水道管路に直接流せるマンホールトイレは有効と認識しています。広域避難場所である学校教育施設は将来的な更新が想定されている中



関口 光男 議員

災害時に備え広域避難場所へのマンホールトイレの早期設置を



Q 帯状疱疹予防に向けた取り組みは、激しい痛みを伴う帯状疱疹は、加齢とともに発症リスクが高まるが、予防できる疾病でもある。ワクチン接種も予防の二つだが、予防に関しての見解は。

A ワクチン接種については、副反応や健康被害の課題もあり、町が推奨する場合は定期接種が基本と考えています。現在、帯状疱疹ワクチンの定期接種は国で検討されているので、その議論を注視しています。また、ワクチン以外の予防として、健康づくり体操の機会などで、町保健師等の専門職員による帯状疱疹を含めた感染症予防に関するミニ講座などを実施し、日常生活での感染予防対策の周知を図っていきます。



東日本大震災時に使用されたマンホールトイレ
出典：国土交通省ホームページより
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000411.html

ですが、県も新たな支援の取り組みを始めますので、町としても計画的に設置を進められるよう検討していきます。

「防災・災害デジタル情報共有化に向けた 政策提言書」を提出しました

総務常任委員会では、議員間討議の結果を踏まえ、2月10日（金）に町へ「防災・災害デジタル情報共有化に向けた政策提言書」を提出しました。

提言書の全文は
こちらから



寒川町営さむかわテニスコート および小規模保育施設を視察しました

文教福祉常任委員会では、3月10日（金）に寒川町営さむかわテニスコート（写真左）および岡田地内に開所した小規模保育施設（写真右）を視察しました。



田端西地区まちづくり対策特別委員会の 調査研究を終了しました

田端西地区のまちづくりの推進に向けた調査研究を行うため、平成29年3月に田端西地区まちづくり対策特別委員会を設置しました。

現地踏査や陳情の審査も含め、特別委員会を合計で25回開催し、町担当課から事業進捗に関する報告を受けながら、議会としても調査研究を進めるとともに、議論を重ねてきました。現在は、組合施行で土地区画整理事業が進められていることから、特別委員会は、ここで一定の役割を終えたものと判断し、調査研究を終了することとしました。



令和4年6月13日の現地踏査の様子

議会改革の取り組みを推進しています

議会改革推進委員会では、令和3年度から令和4年度（第8期）にかけてさまざまな取り組みを行いました。

- ・議員の呼称の変更
- ・会議規則の改正
- ・町LINE公式アカウントによる情報発信
- ・議会基本条例の検討
- ・アンケートの実施
- ・議案公開時期の繰り上げ



これまでの活動内容は
こちらから



小学6年生による子ども議会が開催されました

議会の模擬体験を通じて議会制民主主義への理解を深めることを目的として、1月21日（土）に本会議場で町立小学校6年生の代表による子ども議会が開催されました。新型コロナウイルスの影響で開催は2年振りとなり、実施後のアンケートでは、「有意義な時間だった」「緊張したが楽しくできた」などの感想がありました。



行政視察の受け入れ

寒川町議会では、当町の各種事業について、他議会からの視察受け入れを行っています。令和4年10月から令和5年3月末時点で5団体の議会が当町を視察されました。

自治体名	視察日	内 容
長野県東御市議会	11月11日	・タブレット導入の取り組みについて
香川県琴平町議会	11月16日	・議会の活性化について ・タブレット端末による議会運営について
開成町議会	12月15日	・ねたきり高齢者世帯等一般廃棄物戸別収集運搬の取り組みについて
愛知県碧南市議会	1月24日	・タブレットの導入及びmoreNOTEの活用について
和歌山県有田川町議会	1月26日	・議員定数と議員報酬について ・議会運営について



議会を傍聴される皆さまへ



新型コロナウイルス感染症予防の観点から、当面の間は人数を制限した上で傍聴を実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、会議の様子は、インターネット中継でもご視聴いただけますのでご利用ください。

ご不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

●議会事務局 総務担当 TEL 0467-74-1111 (内) 341・342



インターネット生中継・録画映像はこちら



傍聴について

6月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	6/1	2	3
				本会議 (議案上程等)		
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (議案質疑等)	総務常任 委員会	文教福祉 常任委員会	建設経済 常任委員会		
11	12	13	14	15	16	17
	東海道新幹線 新駅対策 特別委員会 寒川北インター チェンジ周辺 対策特別委員会		本会議 (一般質問)			
18	19	20	21	22	23	24
		本会議 (委員長報告等)				

午前9時開会(会議の日程等は変更になる場合があります)
※6月12日(月)寒川北インターチェンジ周辺対策特別委員会は午後1時15分開会
※6月20日(火)本会議は午前10時開会

さむかわ議会だよりに広告を載せませんか

さむかわ議会だよりでは有料広告を掲載しています。寒川町議会定例会における議会活動の内容等を掲載している公的な情報誌です。年4回(2月、5月、8月、11月)に発行しており、町内全ての世帯に配布しています。(各号21,200部)

広告募集の概要	
掲載場所	裏表紙
広告の規格	縦115mm×横85mm
掲載料	1号あたりの掲載料 40,000円
	年間(4号)一括申込による掲載料 144,000円 (1号あたり36,000円)
申込期間	掲載を希望する号が発行される月の3カ月前の1日~3カ月前の20日まで

※広告の原稿は、広告主の負担で作成してください。
※広告の内容に関する責任は、広告主になります。

表紙解説

「花咲く駅(宮山)」

田口雅巳画

相模線の宮山駅は昭和6年(1931)7月1日、寒川と倉見の中間駅として開業しました。寒川神社の参拝に便利になったと、当時の新聞が報じています。

この絵は、田口雅巳さんが平成2年(1990)の町制施行50周年を機に描き下ろした「寒川三十六景」のうち一枚。平成4年発行の『寒川ふるさとカレンダー』に収録されており、「春はスイセンや菜の花、夏はカンナなどいつも花が絶えない」と説明文が添えられています。停車中の気動車はクリーム色に青いライン入り。昭和61年、相模線活性化促進協議会がイメージアップのため、オレンジ色だった車両を塗り変えたもので、青は相模川をイメージしたものだそうです。